

# まちの話題



いつまでもお元気で!!

9月17日の敬老の日に、市内各地で敬老会が開催されました。台風16号の接近により、残念ながら中止するところもありましたが、開催した地区ではさまざまな出しものや余興が披露され、会場を盛り上げていました。



9月11日、「第4回伊佐市老人クラブ連合会グラウンドゴルフ大会」が忠元公園で開催され、88チーム440人が参加しました。成績は、次のとおりです。

- 優勝 駅前1組
- 2位 平出水中央1組
- 3位 堂崎A



これから日に日に寒くなりますが、体調には気をつけて元気にお過ごしください。

## 伊佐市の高齢者

伊佐市の総人口	29,272 人
75歳以上の人口	6,380 人
総人口に占める割合	21.8%
100歳以上の人	28 人
(男性：2人 女性：26人)	
市最高齢者(女性)	105 歳

(平成24年9月1日現在)

## 伊佐の教師ふるさと塾



8月24日、晴天の十曾青少年旅行村にジャージ姿の大人48人が集合しました。彼らの正体は、市内の小中学校に勤務する教職員の皆さんです。この日は、伊佐の自然に触れ、体験活動に参加することで教職員同士の親睦と伊佐の教師力向上をめざすため、「伊佐の教師ふるさと塾」と題し、市教育委員会主催で開かれました。

話題の“こどもの森”では、ピザ窯で作ったピザを昼食に談笑し、午後からはボートクルーズや川でのレスキュー法を学びました。無邪気に川遊びする姿はまさに子ども。童心にかえり過ごした“ふるさと塾”で得た、「豊かな心を育み生きる力」を子どもたちへ伝えていって欲しいものです。

## ボランティア清掃



次の団体が、ボランティア作業を行ってくださいました。

- 鹿児島県建設業協会大口支部  
(市道・国道の除草作業)
  - 鹿児島県環境保全協会伊佐支部  
(市道・国道の除草作業、側溝の掃除)
- きれいな道路になりました。ありがとうございました。

## 県代表として行ってきます！



10月13日～15日に岐阜県で開催される第12回全国障害者スポーツ大会へ派遣選手として、大口白木在住の濱口良子さん(44歳)が選出されました。

「ソフトボール投げ」と「ジャベリックスロー(やり投げ)」の県代表として出場します。

日ごろの練習の成果を十分発揮し怪我のないよう、健闘をお祈りします。

「がんばれ濱口さん」

## 第3回伊佐市畜産振興大会



8月28日、伊佐市文化会館において、市と北さつま農業協同組合主催の「第3回伊佐市畜産振興大会」が開催されました。

畜産農家への情報の提供と生産技術の向上を図るため開かれた大会は、優良農家功労者の表彰にはじまり、県始良家畜保健衛生所防疫課長の講演がありました。

講演では、平成22年4月に発生した口蹄疫や同年11月発生した鳥インフルエンザがもたらした被害にふれ、家畜伝染病による被害を最小限に止めるために「発生の予防」、「早期発見・通報」、「迅速・的確な初動」が重要であると話され、地域の畜産農家の連携と衛生管理の遵守について改めて確認しました。

## 収穫が楽しみ！ソバの種まき



9月6日、伊佐市立湯之尾小学校の4年生8人が、学校裏の畑にソバの種をまきました。手際のいい子どもたちに「上手ね」と声をかけると「家で手伝っているから」と元気な声がかえってきました。

11月下旬には収穫できる見込みで、子どもたちが収穫と製粉、そば打ちを行い、地域コミュニティの皆さんと一緒に食べるということです。その他、湯之尾小では学年ごとにサツマイモ、大豆、米、麦を栽培していて、季節を感じながらの農業体験を体いっぱい楽しんでいました。

## 「大きくなってね」ウナギ放流



8月27日、大口崎山地区の辺母木川でウナギの稚魚、およそ300匹の放流がありました。

主催した㈱國玉建設は、災害復旧工事の際、辺母木川の水質がきれいなことに驚き、今回の放流を企画したそうです。

川とそこに生きる生き物の存在を実感することで自然を身近に感じてもらおうと近隣の自治会や子ども会も招待され、参加した子どもたちは、ウナギの感触に悲鳴をあげながらも、環境に対する意識や川を大事にしようという気持ちを深めていました。

## 空手道全国大会



8月25日・26日、大阪市で開催された空手道糸東会全国選手権大会に鹿児島県代表として出場しました。大会の成績は次のとおりです。(敬称略)

- 小学2年生女子組手の部 準優勝  
川添結月 (大口小学校・写真中央)
- 小学3年生男子組手の部 第3位  
帖佐太陽 (羽月小学校・写真右)
- 小学1年生女子組手の部 第5位入賞  
御書小花 (大口小学校・写真左)
- 一般女子組手の部 第5位入賞  
益園樹里 (西本町)  
おめでとうございます。

## 「こども手帳」を贈呈 ぼくも、わたしも社会の一員



財団法人日本公衆電話会では、社会貢献活動のひとつとして、小学校児童を対象に「こども手帳」を作成しており、9月5日に市教育委員会へ1,600冊を贈呈しました。

このこども手帳は「安全で安心して暮らせる社会的マナーやルール」を学ぶための教材で、自分の体や命を自分で守る方法や大人になるために大切な心がけが掲載されています。

みんなが気持ちよく生活できるように、ルールやマナーを守り、思いやりの気持ちを持って安全で住みやすい伊佐市を創りましょう。